



— 長年の容器包装開発の知見を生かして —

キューピー マヨネーズ 700g に軽量化キャップを採用 使いやすさはそのままで、プラスチック使用量を約 17%削減

11 月中旬製造分から全国に出荷

— キューピー株式会社 —

キューピー株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役 社長執行役員：高宮 満、以下キューピー）は、現行に比べて約 17%の軽量化を実現したマヨネーズのキャップを開発しました。本キャップをキューピー マヨネーズの 700g に初めて採用し、2025 年 11 月中旬製造分から順次切り替えます。長年の容器包装開発の知見を生かし、従来約 5.2g だったキャップを約 4.3g まで軽くしました。これにより、プラスチック削減率は約 17%となり、年間で約 3.4 トンのプラスチック削減^{※1}となります。



軽量化した新キャップ

※1 前年出荷実績に基づく当社試算

キューピー マヨネーズ発売 100 周年の節目に、20 年ぶりにキャップを改良

キューピー マヨネーズの包材については、2000 年に約 15%軽量化したポリボトルを採用するなど、これまでも環境に配慮した取り組みを行ってきました。現在の細口と星型が 2 通り使えるダブルキャップは 2005 年に採用^{※2}されました。キャップに使われるプラスチックの量はマヨネーズの容器包装全体の約 2 割を占めていることから（700g サイズを基に算出）、キャップの軽量化がプラスチック削減に寄与すると考え、全面的な見直しを進めてきました。今年、キューピー マヨネーズの発売 100 周年にあわせ、700g で初めて採用します。

※2 [キューピーアソシエーツリリース 2005 年 No.4](#) 参照

軽くなっても使いやすさはそのままに。軽量化とユーザビリティを両立する数々の工夫

マヨネーズのように、繰り返し開け閉めして使う調味料のキャップには、耐久性はもちろん、使いやすさも欠かせません。お客さまが新しいキャップになっても変わらず使いやすさを感じてもらえるよう、微細な調整を重ねました。

キャップの高さを 3.9mm 低くし、さらにキャップの開閉時に滑りにくくするために凹凸になっている部分の面積を減らすなど、軽量化を徹底しました（右図キャプション）

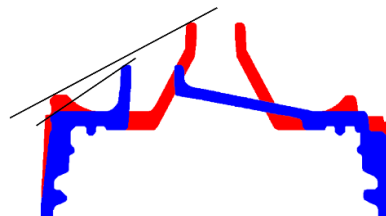


㊤現在のキャップ ㊦軽量化キャップ
軽量化キャップは凹凸部分を上部のみに残し、下部は滑らかにして薄肉化

現行キャップは、マヨネーズが垂れないように出し口を高くしていましたが（断面図、赤）、その分プラスチックの使用量が多くなっていました。軽量化キャップでは出し口が低くてもマヨネーズが垂れないよう、出し口の位置を中心から手前に移動させました（断面図、青）。



㊦現在のキャップ ㊦軽量化キャップ
軽量化キャップは出し口が低く、手前にある



キャップ出し口を横から見た断面図
軽量化キャップ(青色)は、現在のキャップ(赤色)より
出し口は低いものの先端から淵までの角度が深く
垂れにくい設計

キューピーグループは、グループのサステナビリティ目標として「2030 年度にプラスチック排出量削減率 30%以上（2018 年度比）」を掲げています。本取り組みにより、年間でプラスチックの使用量を約 3.4 トン削減^{※1}、CO2 排出量^{※3}を約 13 トン削減できる見込みです。

キューピーは容器包装の改良を通じて、お客さまの食生活をさらに便利にするサステナブルな商品を開発していきます。

※3 GHG(温室効果ガス) 排出量[トン-CO2e]、資材サプライヤーの試算

商品の概要は以下の通りです。

1. 商品名・内容量・価格・賞味期間

ブランド	商品名	内容量	参考小売価格	賞味期間
キューピー	マヨネーズ	700g	779 円(税抜) 842 円(税込)	10 カ月

2. 出荷日

2025 年 11 月中旬製造分から順次切り替え

【キューピー マヨネーズ ポリボトル容器 7 容量(瓶・ミニパックを除く)】



■キューピー マヨネーズ特設サイト：<https://www.kewpie.co.jp/mayonnaise/>

【参考】プラスチックの削減・再利用に関する取り組み

<https://www.kewpie.com/sustainability/eco/plastic/>

【参考】キューピー サステナビリティトピックス「100周年を迎えるキューピー マヨネーズと共に築く、未来に向けたサステナビリティ」

<https://www.kewpie.co.jp/sustainability-topics/202502/>

【参考】共同リリース 「キューピー(株)と味の素(株)使用済みマヨネーズボトル回収実証実験の進捗を報告」

https://www.kewpie.com/newsrelease/items/2025/items/pdf/2025/newsrelease_20250620.pdf

【参考】キューピー マヨネーズの主な容器改良の取り組み

時期	実施内容
1925 年	キューピー マヨネーズ（瓶入り）を日本で初めて製造・販売開始
1958 年	ポリボトル容器入りのキューピー マヨネーズを発売
1972 年	星型の絞り口を採用
2000 年	キューピー マヨネーズ（500g※4）で、ポリボトルを約 15%軽量化
2005 年	細口と星型のダブルキャップを採用し、全国販売

※4 現在は販売していない容量です